令和７年度土木関係公共事業等箇所付け
（11 月補正予算分（追加提案分・ゼロ国債分））

１　箇所付け方針

国の補正予算を活用し、災害時に強い道路ネットワークや通学路の整備、橋梁やトンネルなどの防災・減災対策、近年の豪雨被害を踏まえた河川・砂防等の治水・海岸・土砂災害対策、港湾施設等の老朽化対策等を推進する。

２　箇所数及び箇所付金額（事業費ベース）

合計　162 箇所　10,455 百万円

(1)公共事業　（金額単位：百万円）

事業区分	今回箇所付分				
	新規箇所数	継続箇所数	合　計	うち完了	箇所付金額
道路	1	53	54	0	4,456
（うちゼロ国債分）	0	3	3	0	66
河川・海岸	2	43	45	0	3,724
砂防	0	49	49	0	1,330
港湾	0	1	1	0	81
都市計画	0	9	9	1	587
下水道	0	4	4	0	277
合計	3	159	162	1	10,455

※「河川・海岸」は河川事業及び海岸事業。

※「港湾」の中には港湾海岸事業を含みます。

※事業区分ごとの箇所付け額は百万円未満を四捨五入しており、事業区分ごとの箇所付け額の計と合計とは一致しません。

※県単独事業はありません。

３　代表箇所

＜公共事業＞

番号	事業名	箇所名 （地区名）	主な事業内容	事業主体	新規区分	事業期間
1	道路総合交付金事業費	(国)４７１号(利賀バイパス) (南砺市利賀村栃原～利賀村)	道路改良工事（バイパス）	県		H9～
2	道路総合交付金事業費	（主）富山庄川線（富山市金屋）ほか	舗装補修工事	県		－
3	道路橋りょう改築費	(主)魚津生地入善線 下黒部橋 (黒部市荒俣～入善町高畠)	橋梁修繕工事	県		H25～
4	河川改修費	泉川〔島尾工区〕 （氷見市島尾外）	河川改修	県		R3～
5	河川改修費	室牧ダム （富山市八尾町蒲谷）	ダム管理設備改良	県		R4～
6	砂防関係施設整備費	中ノ口(4)(5)地区 (黒部市宇奈月町中ノ口地内)	急傾斜地崩壊防止施設整備	県		H30～
7	街路事業費	富山駅付近連続立体交差事業 (富山市明輪町～曙町)	L=1.8km 富山地方鉄道本線の高架化等	県		H16～

令和７年度公共事業等箇所付け（11 月補正予算分(追加提案分・ゼロ国債分)）
の主要箇所について

＜公共事業＞

１　道路総合交付金事業費　一般国道４７１号利賀(とが)バイパス（南砺市利賀(とが)村栃原(とちはら)～利賀(とが)村）

・本路線は、石川県羽咋市を起点とし富山県を経由して岐阜県高山市にいたる幹線道路である。
・このうち当該事業区間の現道は南砺市利賀村と南砺市中心市街地との最短経路となっていることから、地域住民の生活及び地域の産業である観光を支える道路として重要な役割を担っている。
・しかしながら、現道は幅員が狭く、急カーブが連続しており、また土砂崩れや雪崩による通行止めが度々発生している。
・このため、国土交通省が進めている利賀ダム建設事業の工事用道路を国道４７１号利賀バイパスとして整備し、走行時間の短縮や通行止めの解消などを図るものである。
・令和７年度 11 月補正予算では、トンネル工を推進する。

２　道路総合交付金事業費　主要地方道富山庄川(とやましょうがわ)線ほか　（富山市金屋(かなや)ほか）

・主要地方道富山庄川線は富山市と砺波市庄川町を結ぶ重要な路線である。しかしながら、現状は舗装の劣化に対する補修が追いつかず、舗装のひび割れやわだち掘れが進行している。
・令和７年１１月補正では、日常の道路パトロールや舗装損傷状況のＡＩ診断結果に基づき、路線の重要性や交通量等も踏まえ、舗装の補修工事を実施し、道路舗装の長寿命化を図るとともに、安全な道路ネットワークの確保を図る。

３　道路橋りょう改築費　主要地方道魚津生地入善(うおづいくじにゅうぜん)線　下黒部橋(しもくろべはし)
（黒部市荒俣(あらまた)～入善町高畠(たかばたけ)）

・本路線は、魚津市を起点として黒部市を経由し、入善町の市街地へ至る主要な路線であり、緊急輸送道路に指定されている。
・本橋は、昭和 41 年の架橋から 60 年が経過し、伸縮装置、桁や高欄の塗装が劣化していることから、早期に補修工事を行い、安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保を進めるものである。
・令和７年度 11 月補正予算では、再塗装を実施する。

４　河川改修費　二級河川泉川(いずみがわ)水系(すいけい)泉川(いずみがわ)（氷見市島尾(しまお)外）

・二級河川泉川水系泉川は、河積が狭小なため浸水被害が発生しており、昭和51年の豪雨では、床下浸水５戸、平成20年８月の豪雨では浸水面積32ha、床下浸水４戸、令和７年８月の豪雨では床下浸水３戸の浸水被害が発生した。
・このため、平成元年度に河川改修事業に着手し、これまでに河口部から上流の上泉地内までJR橋梁部を除く延長1,370mにおいて、河床掘削、築堤等の河川改修を進め、浸水被害の解消を図っている。
・ボトルネックとなっているJR橋梁の区間については、JRとの鉄道橋架替え協議が整った令和３年度より事業を進めている。
・本箇所付けでは、JR橋梁架替工及び護岸工を実施する。

５　河川改修費　室牧ダム（富山市八尾町蒲谷（がまだに））

・室牧ダムは、「洪水調節」「流水の正常な機能の維持」「発電」を目的として建設された多目的ダムであり、長寿命化計画に基づき維持管理等を行っているが、設備の老朽化が著しいことから、ダム管理用設備の改良を行い、ダム管理の確実性・信頼性の向上を図る。

・本箇所付けでは、放流設備等の改良を実施する。

６　砂防関係施設整備費　中ノ口（４）（５）地区（黒部市宇奈月町中ノ口（なかのくち）地内）

・当該箇所は黒部市宇奈月町中ノ口地内に位置し、保全対象として人家６戸、指定避難所「愛本公民館」、緊急輸送道路「(主)朝日宇奈月線」、市道「中ノ口３号線」を含む急傾斜地である。

・過去に降雨による小崩壊が発生するなど、斜面が不安定な状態となっており、土砂災害から住民の生命・財産を守り、地域の安全度の向上を図るため、法面工の整備を行うものである。

・令和７年度 11 月補正では法面工を実施する。

７　街路事業費　富山駅付近連続立体交差事業（富山市明輪町（めいりんちょう）～曙町（あけぼのちょう））

・富山駅周辺地区では、鉄道と交差する道路に交通渋滞が発生しており、また、鉄道による地区の分断で効率的な土地利用等に支障をきたしている。

・富山駅付近の在来線を高架化することにより、道路の新設や拡幅による渋滞の解消、駅南北の一体的なまちづくりを推進し、県都の玄関口にふさわしい魅力ある都市空間の創出を図るものである。

・平成 31 年３月に、あいの風とやま鉄道線全線の高架化が完成した。

・富山地方鉄道本線の高架化については、令和４年 12 月に仮線への切換が完了し、令和５年５月から高架橋工事に着手した。

・令和７年度 11 月補正予算では、引き続き富山地方鉄道本線の高架橋工事を推進する。